

「全国学力・学習状況調査」の学校コード、市町村コードの活用について

【概要】

○現在、「全国学力・学習状況調査」の学校コードは、調査実施のための独自のコードが用いられている。また市町村コード(自治体コード)については、設置者名(例:〇〇委員会)で所在地情報を把握することができることから、貸与データに含めていなかった。今般、統一的な学校コードが示されるにあたり、全国学力・学習状況調査においても、令和3年度調査から、統一的な学校コード及び市町村コード(自治体コード)を正確に付与し、他の調査との突合を容易にし、研究者にとってより一層データを活用しやすくなるようにする。

	学校コード	市町村コード(自治体コード)
コードの現状	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国学力・学習状況調査」独自のコードが付されている。 ・「学校基本調査」を始め、他のデータとのリンクが容易でなく、現状は、データ利用者が各自で突合作業を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省による標準地域コードを使用しているが、過年度データに関し、細部について、統一的でない部分があった。 ・設置者名(教育委員会名)で所在地情報を知ることが出来るため、市町村コードは貸与していない。
コードの整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月に、文科省が学校統一コードを付与し公表していることに合わせ、全国学力・学習状況調査でも同様のコードを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省による標準地域コードとして統一的に整備し、貸与データにも含める。
令和3年度調査への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者において、独自コードとともに、統一コードを併記してデータを納品する。但し、独自コードと統一コードの対応表は文部科学省で作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先に、総務省による標準地域コード(実施年の4月時点)を使用するように、依頼を徹底し、納品データについても十分に確認を行う。
過年度ローデータへの反映	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度については、独自コードと統一コードの対応表を利用者に提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度のローデータについて、修正・整備が完了している。令和3年度第Ⅲ期データ貸与から提供可能である。